

2010年4月

先日はついに一部地域で大気汚染指数が過去最悪の500と数字が観測された香港ですが（ちなみに香港には大気汚染を現すレベルに「軽微」「中等」「偏高」「甚高」「嚴重」の五段階があり、500というのは「嚴重」になり心臓や呼吸器系統を患っている人は明らかに健康被害、そうでない人も、目や喉の痛み、咳などの症状がでるというレベルだそうです）

その後も、なんだかモヤモヤとした天気が続き、これが春霞なら風情もあるのになあと思いながら空を見上げる日が続いています。みなさんもお変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、香港。

アジアでありながら西洋文化の影響も大きいWest Meets Eastの

お国柄。

普段の生活の中でも、風水や古くからの風習を重んじる一方、英語を話しレディファーストを实践するという絶妙のミックス具合を見せてくれるいい意味で西洋と東洋の文化のいいところ取りをしてるようで感心させられます。

そんな中、一番いいところ取りやな~と思うのは祝日でしょうか。

日本でもクリスマスなどは、もうかなり一般的な季節の行事となっておりますが、と言って、その日が祝日にはなってませんが、ここ香港では、クリスマスやイースターなどの西洋の宗教のお祭りの日も祝日となり仏陀のお誕生日や、先祖のお墓参りをする清明節もまた祝日となりこれは、いいところ取りというよりはお休みが増えてダブルに美味しいというところでしょうか。

そういえば、クリスマスが終われば、新暦の新年、次は旧暦のお正月、そしてイースター、清明節とお祭りが目白押しです。

そういう沢山のお祭りの中には、とても香港らしい、おもしろいものもあります。

来月、長州島で催される『長州太平清醮』— 長州饅頭祭りなども、そのひとつです。

このお祭りは旧暦のお釈迦様のお誕生日 — 沸誕に催されるお祭りで、もう100年ほどの歴史があり、起源は大流行した疫病がおさまったときに、お釈迦様に感謝のお祭りをしたのが始まりとも言われています。

で、なぜそれが饅頭祭りなのか？

なんと、頂くとご利益があるというお饅頭で作られた高さ十数メートルのお饅頭の塔にかけのぼり、一番上のお饅頭を争奪するというちょっとお釈迦様のお誕生日という和やかな雰囲気からは想像できない壮絶なお饅頭争奪合戦がメインイベントとなってるからなのです。

実は香港では旧正月にも、一番乗りで神様にお線香をあげるために参拝客が火のついたお線香を握りしめて境内を全力疾走をするという光景が見られます。

人より早ければ早いほどご利益も大きく、ましてや一番乗りとなればその年の福男（福娘？）と呼ばれるようです。

このお饅頭争奪戦といい、初線香大レースといい、ただお参りするだけではなく、さらなる福は己れでつかみとらねば！と香港の実力主義を反映してるように思うのは私だけでしょうか。

このお饅頭の争奪合戦は、実は毎年かなりの負傷者が出るということで、20年以上も中止されていたそうなのですが、それも2005年より再開となり香港の名物風物詩として再び定着しつつあります。

またこのお饅頭争奪合戦の他にも、島の子供たちが歴史上の人物や有名人に仮装して練り歩く大きな規模のパレードも催されます。まあ、香港にいますと、クリスマス、お正月、国慶節とパレードはかなり見慣れてしまうのですが、このパレードの他と違うところは子供たちが棒一本で宙づりのような形になり、ふわふわと宙を歩くようなパレードが見れることでしょうか。

今年の長州お饅頭祭りは5月の21日です。

香港島から一時間足らずで行くことのできるこの長州島は香港にもこんなところがあったの？と驚くような

ゆったりとした空気が流れる小島で、美味しい近海のシーフードを楽しむこともできます。

パレードと、美味しいシーフード、そして掴み取らなくても頂くだけでも十分ご利益があるというお饅頭をゲットしにちょっと小旅行はいかがでしょう。

その頃にはもう少し、お天気も空気もよくなることを祈りつつ。

咲乃月音